

# 家畜衛生だより 令和5年6月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

## 牛のアルボウイルス性異常産について

### ○牛のアルボウイルス性異常産とは

又カカや蚊などの吸血によって脊椎動物に感染するウイルスをアルボウイルスといいます。

アルボウイルスは吸血昆虫の行動が活発化する夏から秋にかけて流行し、発症牛では秋から春にかけて異常産（流産、早産、死産、先天異常子牛の出産）などの症状が見られます。

### 主なアルボウイルス性異常産

#### ・アカバネ病

成牛はほとんど症状を示しませんが、胎子に感染した場合、流産や早産、死産、先天異常子牛の出産が起こります。先天異常子牛には、脊柱や四肢の湾曲、大脳欠損などの奇形が見られます。

#### ・アイノウイルス感染症

アカバネ病と症状が類似しており、胎子に感染すると、流産や早産、死産、先天異常子牛の出産が起こります。先天異常子牛には、脊柱や四肢の湾曲、大脳欠損のほか、小脳形成不全が認められます。

#### ・チュウザン病

流産や死産、早産は少なく、先天異常子牛の出産が多く見られます。

先天異常子牛には、自力哺乳不能や起立不能などの運動障害や、後弓反張等の神経症状が見られます。

アカバネ病、アイノウイルス感染症と異なり体形異常は認められません。

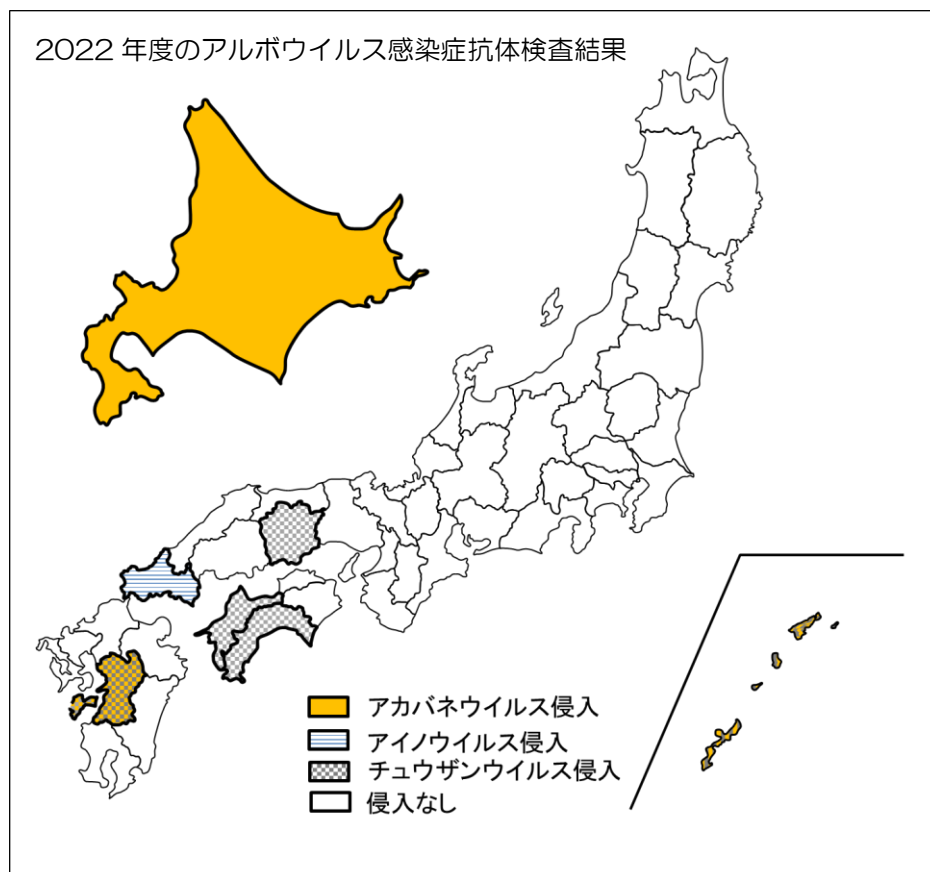
#### ・その他

ピートンウイルス、サシュペリウイルス、シャモンダウイルスなどが異常産に関与している可能性があります。

## ○アルボウイルス感染症の流行予察について

アルボウイルス感染症が流行すると畜産業に大きな損害が生じることから、わが国では全国的なモニタリング調査を行っています。

調査は、毎年6月、8月、9月および11月の4回、おとり牛(吸血昆虫の活動する夏を経験していない牛)の抗体検査を実施しています。



昨年度、和歌山県では、アルボウイルスの侵入は認められませんでした。7道県で侵入が認められました。

アカバネウイルス・・・北海道、熊本県、沖縄県

アイノウイルス・・・山口県

チュウザンウイルス・・・岡山県、高知県、愛媛県、熊本県、沖縄県

本年度もアカバネ、アイノ、チュウザンウイルスについておとり牛の抗体検査を行います。  
検査の対象となった農家は子牛の採血にご協力をお願いします。

アルボウイルス感染症は、吸血昆虫対策やワクチン接種による防除が有効です。流産・死産が続く、体形異常の子牛がみられる等あれば最寄りの家畜保健衛生所にご連絡ください。